

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address, etc. Rows include 大通1・2丁目, 大通黄金1～7丁目, 大通西, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, etc.

●人口

Table of population statistics: 総人口, 0～4歳, 5～14歳, etc. Includes a pie chart showing age distribution.

●建物関連指標

Table of building indicators: 総棟数, S55年以前建築, S56年以降建築, etc. Includes a pie chart showing building age distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation sites within the district: 施設名, 標高, 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

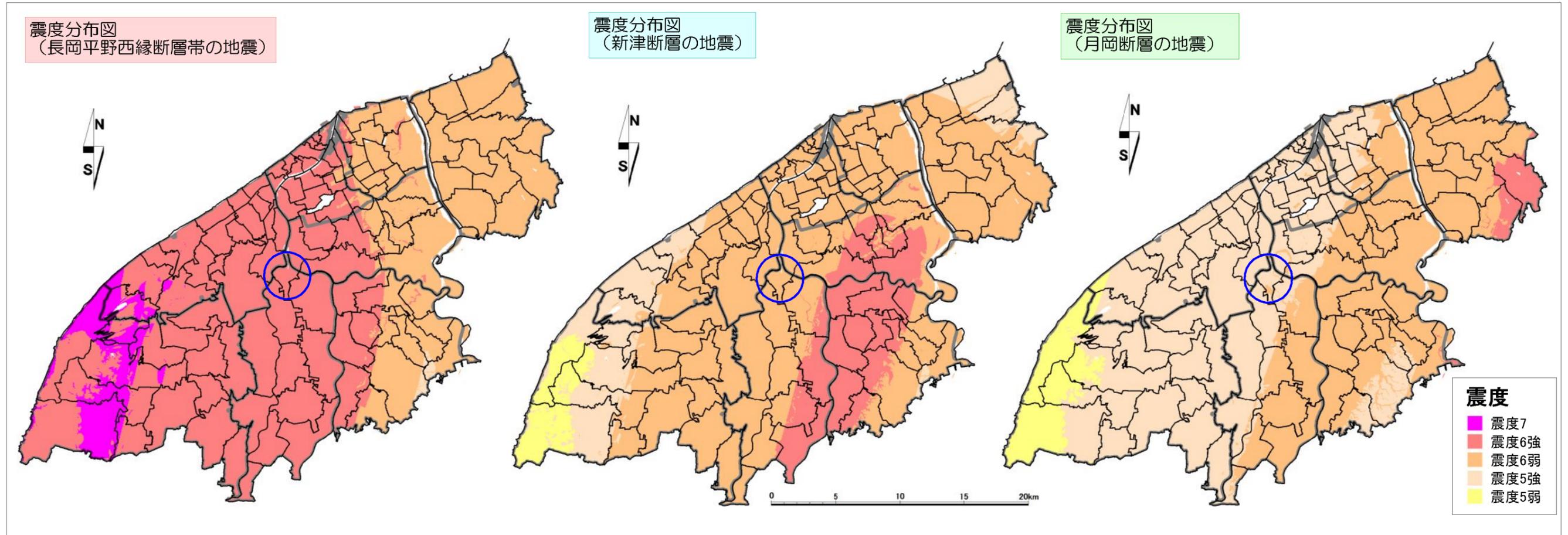
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation sites outside the district: 施設名, 標高, 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

避難の可否:「-」はそれぞれの災害で避難の対象外、津波で「×」の施設は、津波避難の対象外かつ津波浸水の危険性がある。

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 津波 (地震), 水害 (土砂).



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

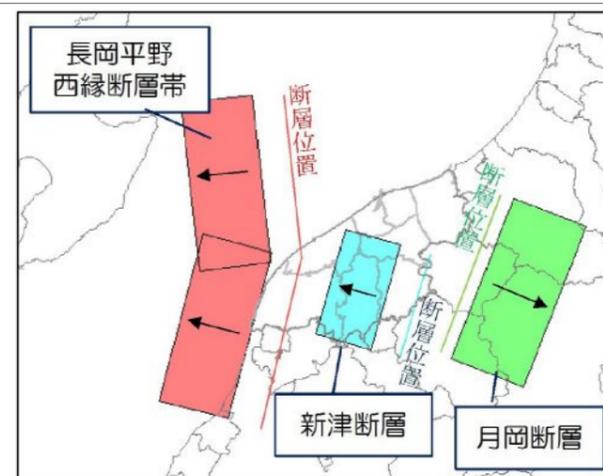
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

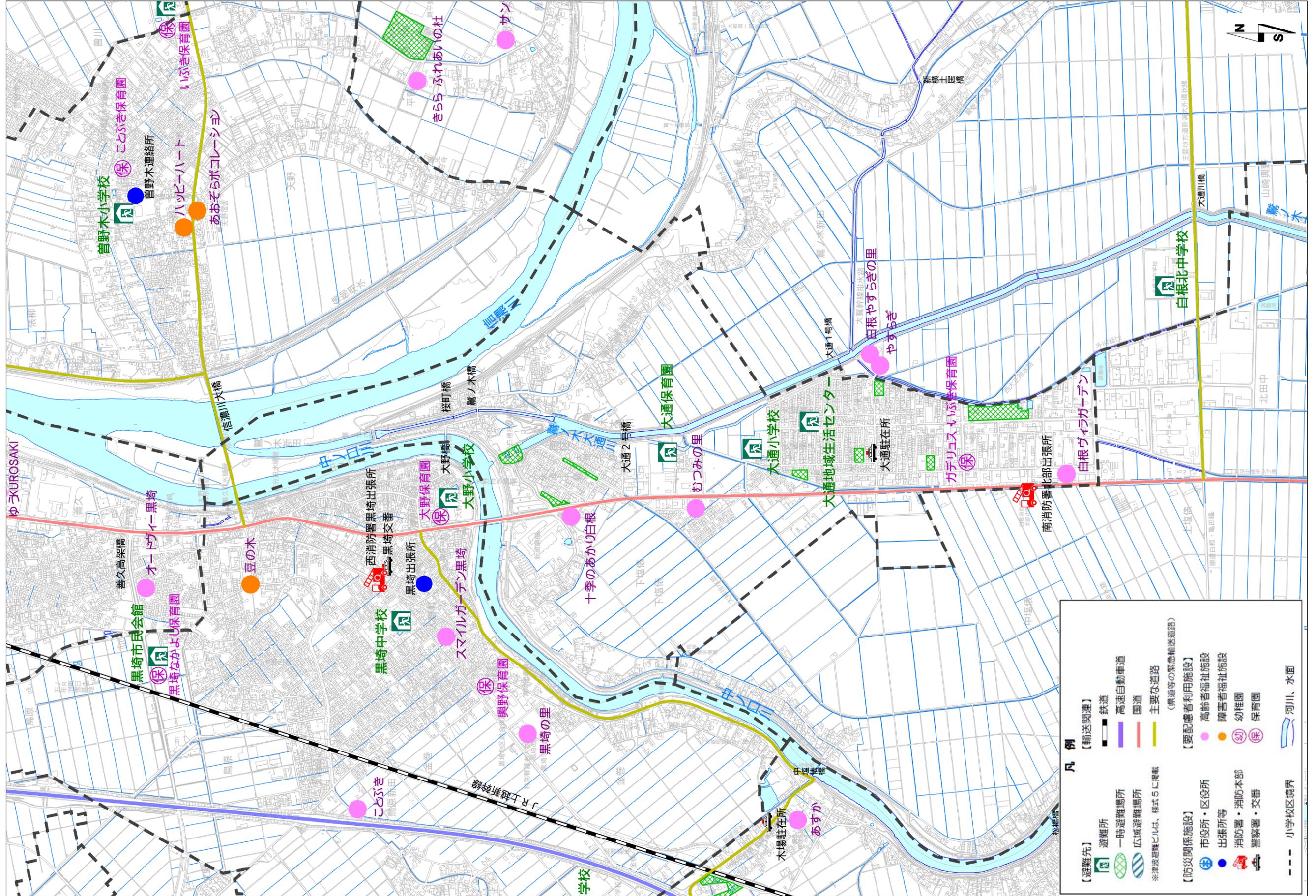
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。



【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

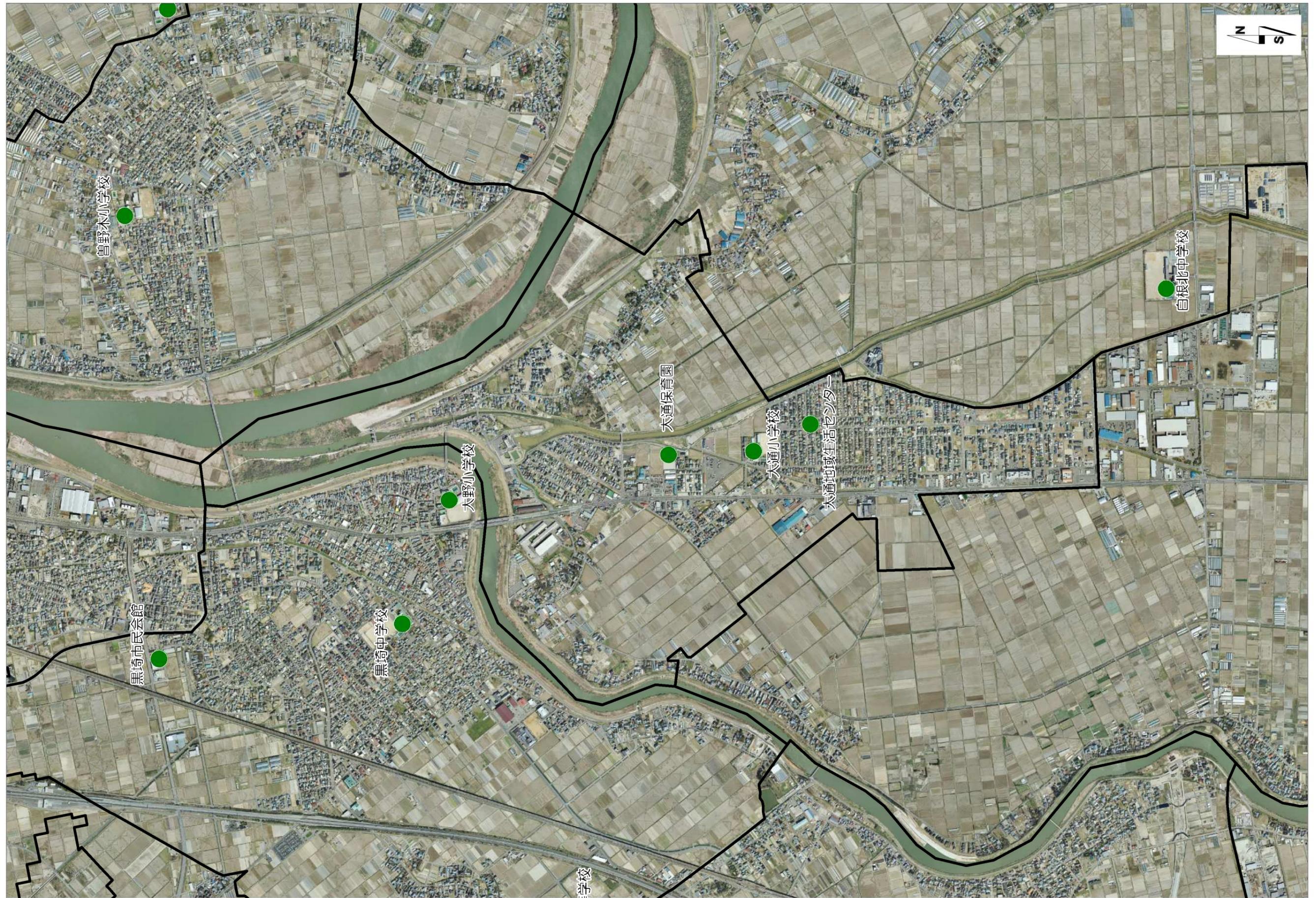
0 500 1,000 1,500 2,000m

凡例

【避難先】	避難所	一時避難場所	広域避難場所
【防災関係施設】	市役所・区役所	出張所等	消防署・消防本部
【輸送関連】	鉄道	高速自動車道	国道
【要配慮者利用施設】	高齢者福祉施設	障害者福祉施設	幼稚園
	保育園		
	小学校区境界	河川、水面	

※津波避難ビルは、様式5に掲載

(県道等の緊急輸送道路)



【出典】 航空写真(平成26年4月)



様式5 標高分布図



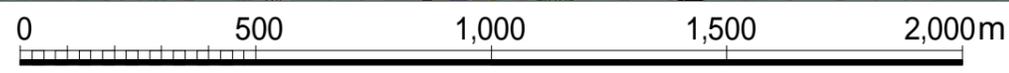
標高 (m)

~ -1m	5 ~ 6m
-1 ~ 0m	6 ~ 8m
0 ~ 1m	8 ~ 10m
1 ~ 2m	10 ~ 12m
2 ~ 3m	12 ~ 14m
3 ~ 4m	14m ~
4 ~ 5m	

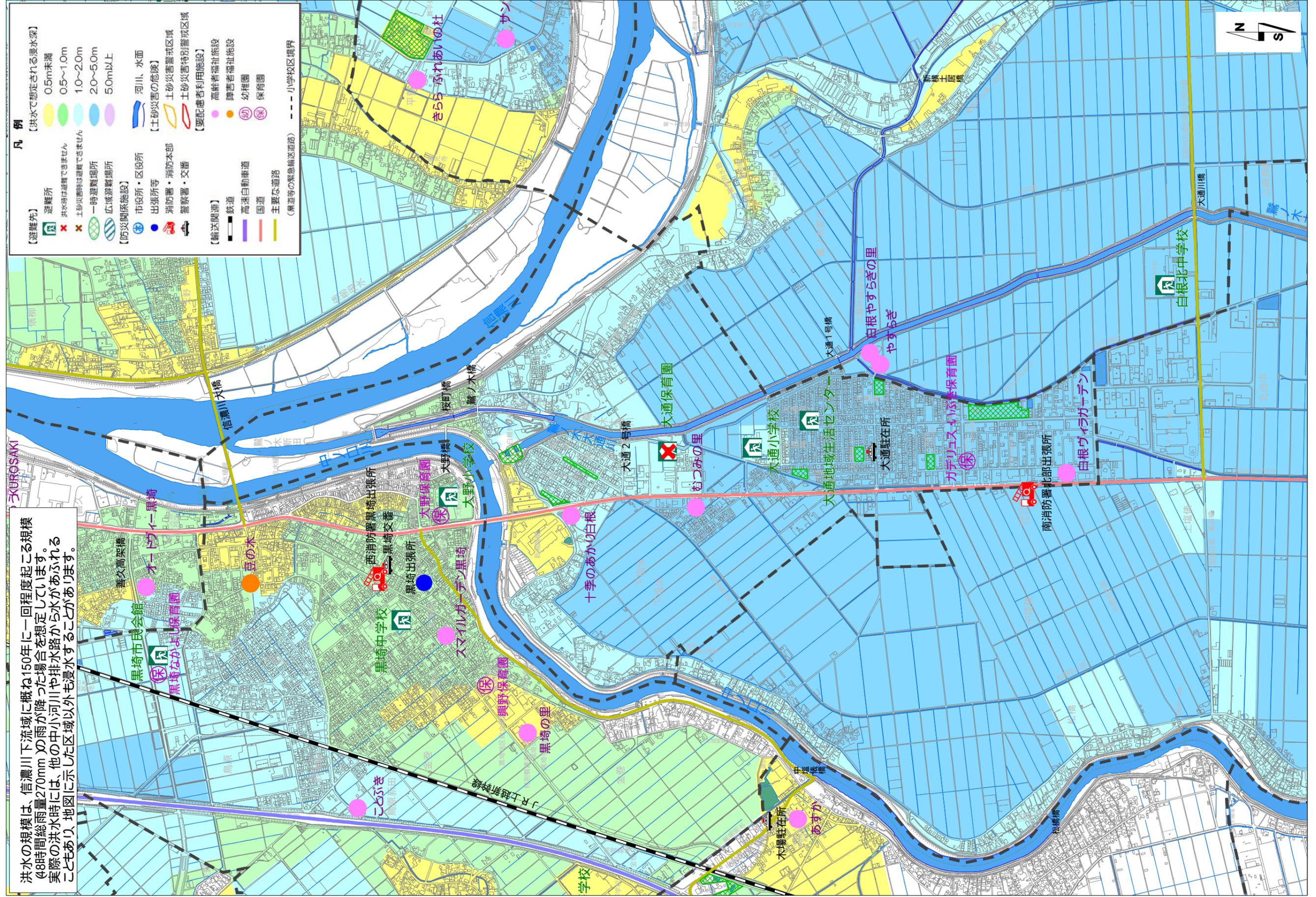
凡例

【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
津波避難ビル	主要な道路
津波避難場所	(県道等の緊急輸送道路)
	【要配慮者利用施設】
【防災関係施設】	高齢者福祉施設
市役所・区役所	障害者福祉施設
出張所等	幼稚園
消防署・消防本部	保育園
警察署・交番	小学校区境界

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



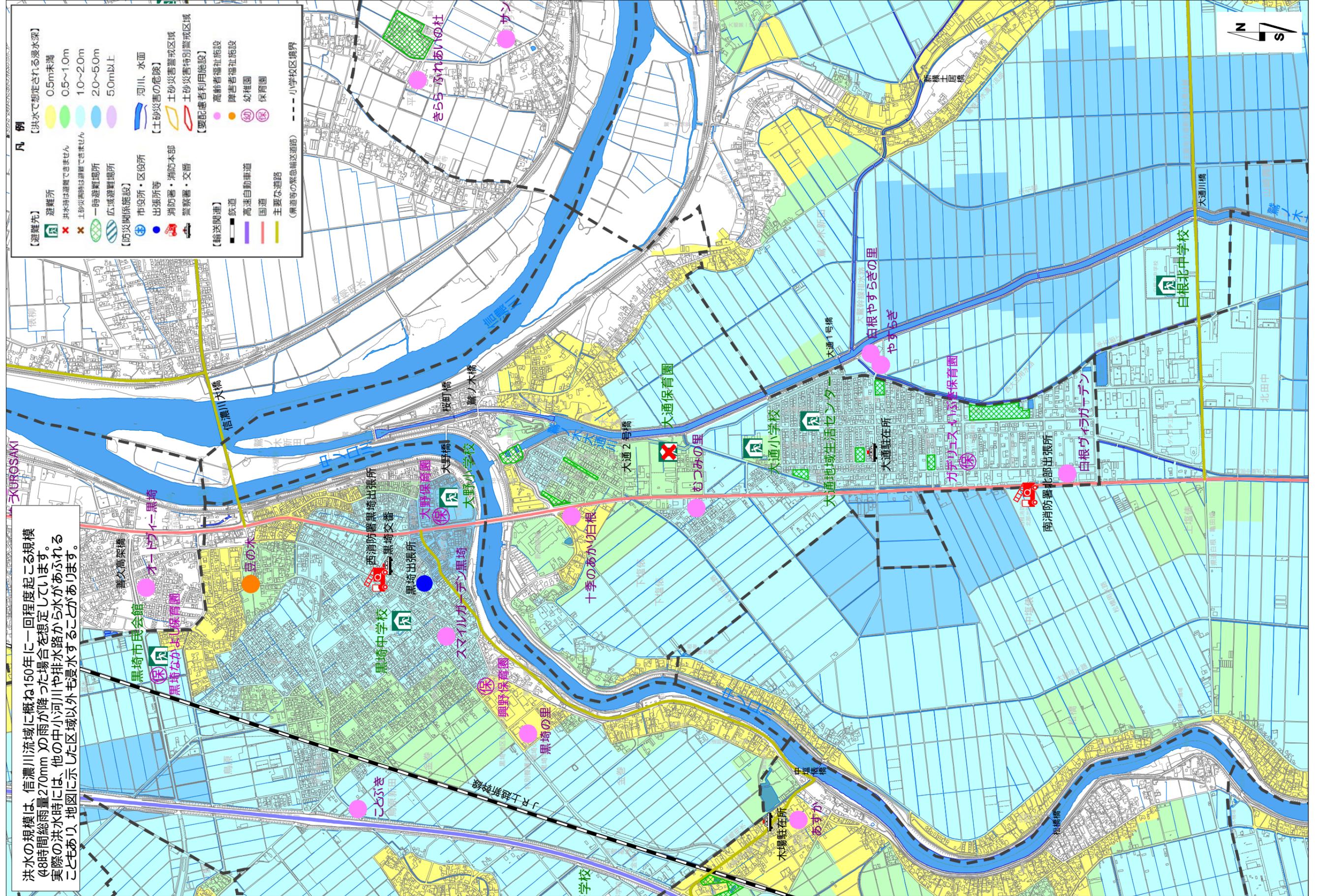
様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）



0 500 1,000 1,500 2,000m

様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（中ノ口川）

大通小学校区



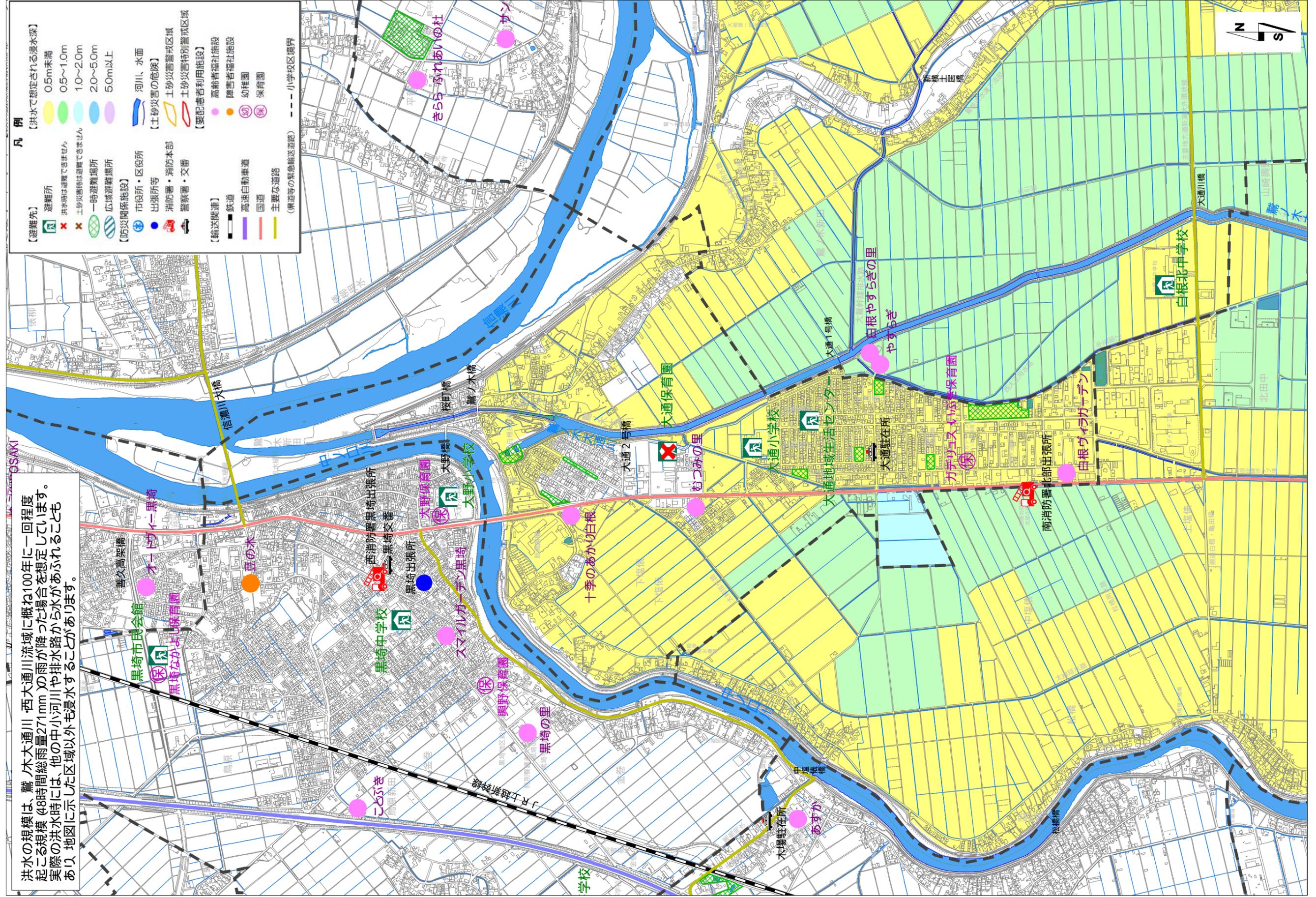
洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量270mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

〔出典〕 隣接の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
中ノ口川浸水想定区域（新潟県、平成16年6月15日）

0 500 1,000 1,500 2,000m

様式6 - 3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（鷲ノ木大通川・西大通川）

大通小学校区



【出典】 隣接の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 鷲ノ木大通川・西大通川浸水想定区域(新潟県,平成21年8月21日)

